



# 北九州市 発達障害者支援地域 協議会・専門部会

調査・骨格検討部会（第一回）

2021.6.10 19:00～

# 本日の予定

※ 20時30分  
終了

## 《事務局説明》

- 1 部会長の指名、構成員紹介（名簿にて紹介）
- 2 地域協議会「中間まとめ」の振り返り
- 3 専門部会の役割・今年度の目標・議論の進め方

〔以上、5分〕

## 《意見交換》※ 部会長説明、進行

- 1 発達障がいのある人の日常生活を支える「基本の手立て」について（その1「手立て」をどう定義するか）
- 2 現状分析・実態把握について（その1 大まかな内容等）

〔以上、70～80分〕

会議終了後も、会議構成員の方々とは随時チャットで意見交換

# 地域協議会 「中間まとめ」 の振り返り 1

令和元年 9 月 北九州市発達障害者支援地域協議会  
発足

## 【基本的視点】

乳幼児期から成人後までのライフステージを通じて

- ①特性の気付き
- ②特性の「理解と評価」
- ③特性を踏まえた「手立て」
- ④次のライフステージへの「引継ぎ」

を一貫して行うシステムを構築

自分らしさを大切にしながら、身近な地域での自立した生活と社会参加を進める包括的支援の推進

# 地域協議会 「中間まとめ」 の振り返り 2

令和3年2月 地域協議会「中間まとめ」  
全8回の議論のまとめ

11の検討課題に沿って、全27項目  
からなる「取り組みの方向」をまとめ

「中間まとめ」に盛り込まれた提言の具体化について  
検討を進めるため、3つの専門部会を設置

〔3つの専門部会〕

- ①調査・骨格検討部会
- ②第一部会(支援システム検討部会)
- ③第二部会(強度行動障害支援検討部会)

# 3つの 専門部会に ついて

(※現状把握と  
具体策の検討)

## ①調査・骨格検討部会

特性理解と支援への反映(特に「基本の手立て」について検討)

## ②第一部会(支援システム検討部会)

ライフステージごとの「気付き～特性理解～基本の手立て」の仕組み検討

## ③第二部会(強度行動障害支援検討部会)

重度の障害があっても地域で暮らせる環境



三つの専門部会の議論は相互に関連・補完

(部会長による調整、地域協議会・全体会への報告)

令和3年度末に地域協議会「最終まとめ」完成

令和4年度市予算及び事業に「具体策」を反映

# 調査・骨格 検討部会の 目指すもの

## ① 「中間まとめ」

### 抜粋

〔特性理解と支援への反映〕

#### 《取り組みの方向》

- ・ 発達障害のある人一人ひとりの特性に合った接し方や方法を早くから選び、環境を整えることで、その人が持つ本来の能力を引き出し、生きやすい環境のもとで快適な生活を送れるように支援を進める。
- ・ まずは、周囲の環境を視覚的にわかりやすくする「構造化」をはじめ、必要な支援がどれだけ進められ、次のライフステージに引き継がれているか、地域社会の現状を把握して今後の方策について検討する。



#### 【目指すべき将来の姿】

- ・ 発達障害のある人一人ひとりの特性を踏まえた支援手法や支援ツールの活用法を本人・家族・支援者が身近なところで同じように学ぶことができ、生活の場で切れ目なく提供されている。

# 調査・骨格 検討部会の 目指すもの

## ②この部会で取り 組むこと

- ・発達障害のある人の日常生活を支える「基本の手立て」を整理検討

(例 生活環境の構造化、理解と表出のコミュニケーション支援等)

- ・現状分析、実態調査の企画実施

(上記の「基本の手立て」がどこまで定着しているか、等)

(当事者、家族、医療、福祉、教育、雇用関係者等への調査)



令和3年12月まで、全6回のweb会議を予定(配布資料「調査・骨格検討部会の進め方」のとおり)

有効な支援手法や、必要な支援ツールの普及、定着に係る具体策の検討(市予算や事業への反映)